

12  
Dec.衛生  
トピックス

今月のテーマ:

## 冬に流行する感染症

ーノロウイルスとインフルエンザに注意!ー

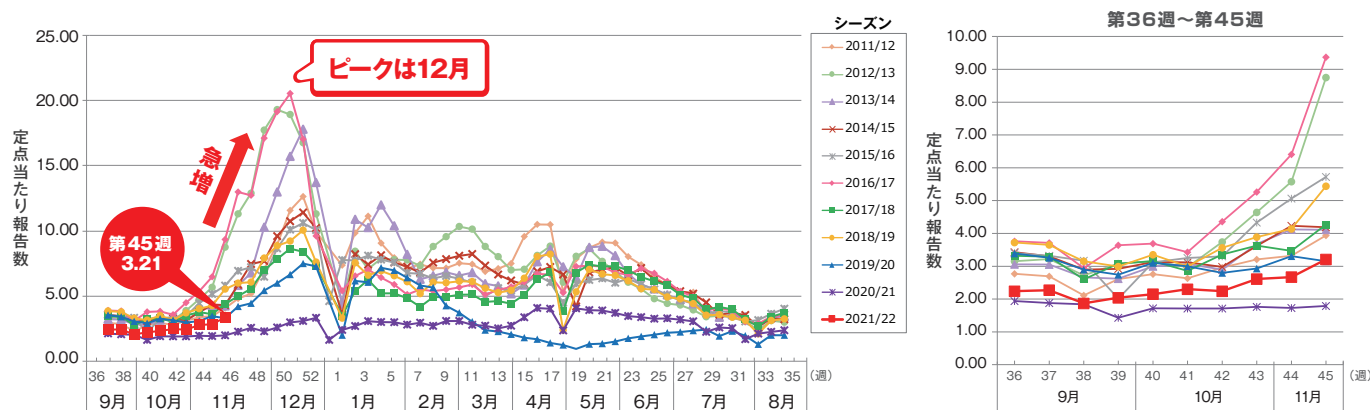
新型コロナウイルス感染症の第6波に備え感染対策が継続されている中、今月は、例年冬季に流行のピークを迎えるノロウイルスとインフルエンザウイルスの発生状況と、ウイルスの特徴や感染対策についてお伝えいたします。

## 今シーズンのノロウイルス等による感染性胃腸炎の発生状況

国立感染症研究所の感染症発生動向調査によると、今シーズン（第36週：9月6～12日の週から）の感染性胃腸炎※の定点医療機関当たりの患者報告数は、第45週（11月8～14日）では3週連続で増加し3.21となり、過去10年間の同時期と比較すると3番目に低い値となっています。しかし、いったん増加し始めると急増し、**例年12月にピーク**を迎えていますので、**流行に備えて感染対策を徹底しましょう**。既に集団発生が見られたり、「ノロウイルス食中毒注意報」を発令した県もあるため油断はできません。

※「感染性胃腸炎」は胃腸炎症状を呈する症候群であり、ノロウイルスのみならず、サポウイルス等のウイルスや細菌が原因となりますが、冬季のほとんどはノロウイルスが原因とされており、この発生動向はノロウイルスの流行状況の把握に用いられています。

感染性胃腸炎の定点医療機関当たりの患者報告数

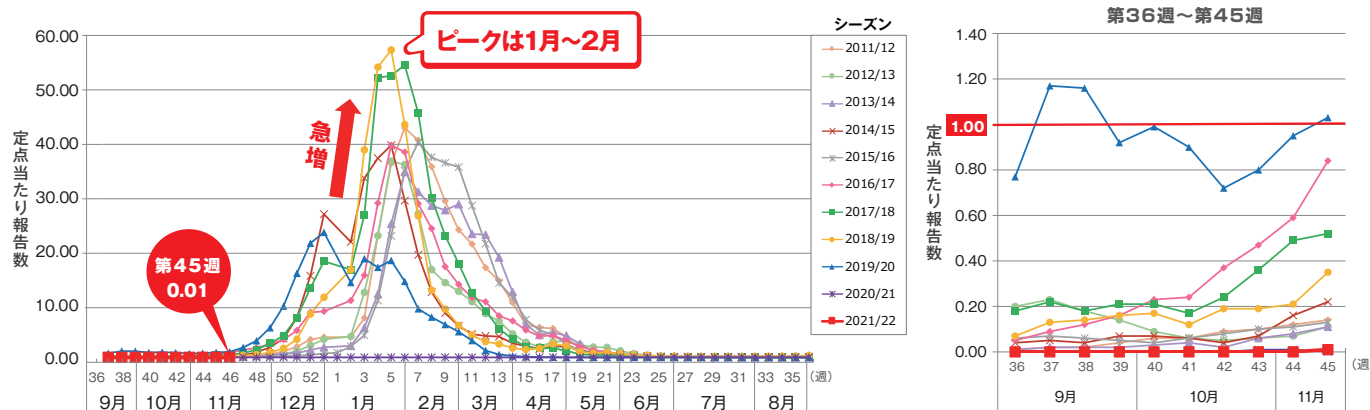


国立感染症研究所 感染症発生動向調査 週報 2021年第45週(11月8～14日)

## 今シーズンのインフルエンザの発生状況

インフルエンザは**例年12～3月頃に流行し、1～2月にピーク**を迎えます。今シーズンの定点医療機関当たりの患者報告数は第45週では、4週連続でわずかながらに増加し0.01となっています。流行入りの目安となる「1.00」を上回ることがなかった昨シーズンと同様に0～0.01の低いレベルで推移していますが、流行状況に注意していくことが必要です。

インフルエンザの定点医療機関当たりの患者報告数



国立感染症研究所 感染症発生動向調査 週報 2021年第45週(11月8～14日)

## ■ ウイルスの特徴

ノロウイルスもインフルエンザウイルスも冬季に感染症の流行を起こすウイルスですが、その構造や感染経路などは異なります。それぞれのウイルスの特徴を理解して、適切な予防対策を講じましょう。

	ノロウイルス	インフルエンザウイルス
ウイルスの構造	直径 約38nm エンベロープ*をもたない	直径 80~120nm エンベロープ*をもつ
感染経路	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ウイルスで汚染された食品・飲料水の経口感染</li> <li>●便・嘔吐物に触れた手指や、ウイルスで汚染された環境表面に触れた手指を介した接触感染</li> <li>●飛び散った嘔吐物による飛沫感染、嘔吐物の処理不十分により乾燥して空気中に漂う塵埃感染</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●咳やくしゃみ等の飛沫感染</li> <li>●咳やくしゃみを押さえた手指や、ウイルスで汚染された環境表面に触れた手指を介した接触感染</li> </ul>
症 状	<ul style="list-style-type: none"> <li>●主な症状は吐き気、嘔吐、下痢、腹痛であり、発熱は軽度</li> <li>●感染しても発症しない場合や、軽い風邪のような症状の場合がある</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が比較的急速に現れるのが特徴で、併せて普通の風邪と同じように、のどの痛み、鼻汁、咳等の症状も見られる</li> </ul>

※エンベロープとは：ウイルスの構造の外側にある脂質で出来た膜のことです。エンベロープをもつウイルスは、アルコール消毒剤からダメージを受けやすいのに対し、エンベロープをもたないウイルスは、ダメージを受けにくく、アルコール消毒剤が一般的に効きにくい傾向にあります。最近ではエンベロープをもたないウイルスにも有効な酸性アルコール手指消毒剤が開発されています。

## ■ 感染対策

### ノロウイルス

徹底した手洗い  
ノロウイルスは非常に小さいので、手指に付着すると容易に落とせません。衛生的な手洗いを確実に行いましょう。トイレの後、汚物処理後は2度手洗いをします。

汚物の処理  
感染者の便・嘔吐物にはノロウイルスが大量に排出されるため、二次感染を起こさないように適切な処理が望めます。汚物処理に必要な備品は予め備えておきましょう。

環境の清浄  
手指を介して環境の汚染が拡大されます。多くの人に触れる箇所を中心に日頃から清潔な状態を保ちましょう。また、ノロウイルスの汚染が起こりやすいトイレは確実な清浄を行いましょう。

食品の十分な加熱  
食品中のノロウイルスを不活化させる唯一確実な方法は加熱です。二枚貝など、ノロウイルス汚染のおそれのある食品は、中心温度85~90℃で90秒間以上加熱しましょう。

### インフルエンザウイルス

手洗い・手指消毒  
石けん・流水による手洗いは、ウイルスを物理的に除去するために有効です。アルコールによる消毒も効果が高いため、水道がない場所では、アルコールによる手指消毒を行いましょう。

うがい  
空気が乾燥すると気道粘膜の防御機能が低下します。うがいは、喉の粘膜に十分な湿分を補給し、粘膜の働きが弱まるのを防ぎます。

せきエチケット  
咳やくしゃみで飛沫が1~2m飛ぶと言われています。周囲の人を感染させないように、せきやくしゃみが出るときはマスクを着用しましょう。

ワクチン接種  
インフルエンザワクチンは、感染後に発病する可能性を低減させる効果と、発病した場合の重症化防止に有効とされています。流行前の接種がポイントです。

日頃から手洗い・手指消毒、環境の清浄等の感染対策を徹底して行いましょう！  
罹患した場合は職場に連絡・報告をしましょう！無理をして出勤すると感染を広げるおそれがあります。

サラヤの衛生管理総合 WEB サイト

# sanitation

注目! topics 衛生管理ガイド シーズン到来!! ノロウイルス対策できていますか?  
ノロウイルス対策のまとめサイト! 現場で役に立つ情報をまとめ配信!

http://pro.saraya.com/sanitation/

サラヤ 食品衛生 検索

WEBサイトでも解説! スマホで手軽に見られます。  
スマホで情報GET!